

災害から身を守るために

vol.8

「いざ」という時に…風水書編」

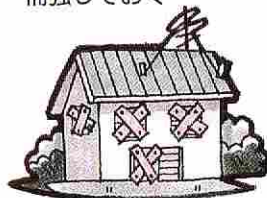
本市域では、たびたび台風や土砂災害などによる被害が発生しています。
今回は、台風・土砂災害の発生に備える対策や、災害の兆候などについてお知らせします。

台風 に備えて

■熱帯地方の海上で発生した低気圧のうち、その中心付近の最大風速が秒速17.2m以上のものを台風と呼んでいます。

台風が上陸した場合は、雨・風・高潮などが複合して、大きな被害をおよぼしますので、事前の十分な対策が必要です。

1. 玄関や窓、雨戸などを補強しておく



2. 物干し竿や植木鉢などを片づけておく



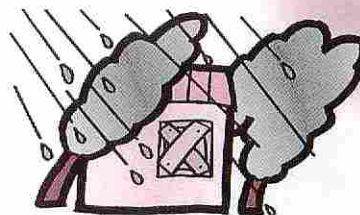
4. 土砂災害に気をつける



3. 側溝や雨どいなどを掃除し、排水をよくしておく



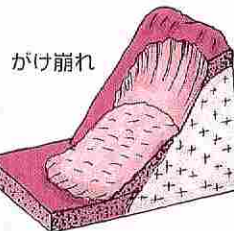
5. テレビやラジオなどの気象情報に注意する



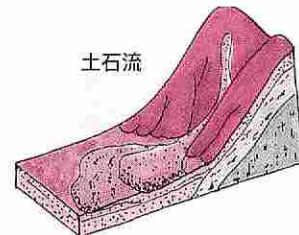
土砂災害 に備えて

■身近に発生する土砂災害として、「がけ崩れ」や「土石流」があります。「がけ崩れ」は、角度が約30度以上あるがけで発生しやすく、「土石流」は谷状地形の小さな溪流などで発生します。これらは、降雨・融雪・地震などで発生しますが、大半は集中豪雨の時に発生しています。発生の危険を感じた場合は、裏山の状況に注意し、寝る時も2階やがけから離れた部屋で寝るよう心がけましょう。

1. 降雨量が1時間あたり30mm以上で、降り始めから100mmを越えるような場合は、気象情報に注意して、避難の準備をしましょう。
2. 「がけに亀裂が入る」「わき水が濁る」「がけから小石が落ちる音が聞こえる」などは、がけ崩れの前触れです。



がけ崩れ



土石流

3. 土砂災害を未然に防ぐため、「がけの上の大木を切る」「雨水をがけに浸透させないように水路をつくる」「不安定な土砂は取り除く」など、事前の対策をとることも重要です。



土砂災害の危険を感じたら…

- 消防本部 ☎(22)6688
- 市総務課危機管理室防災交通安全係 ☎(22)6600内線221
- 県気仙沼土木事務所 ☎(24)3184

まで連絡してください。

今回は「いざ」という時に「避難編」と題して、災害時の避難場所などについてお知らせします。
問合せ先 市総務課危機管理室
防災交通安全係 ☎(22)6600
0内線221